

オンライン付表. 内戦暴力経験のタイプとリスク・時間選好に関する頑健性チェック

	被説明変数 =	
	(1) リスク回避のダミー変数	(2) 現在バイアスのダミー変数
<b>I. 村レベルの暴力経験平均(本人を含まない平均)</b>		
基本モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ )	0.261 ** (0.104)	0.105 *** (0.031)
A. 暴力のタイプの多様性:線形モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ ): $b_0$	0.167 (0.154)	0.093 ** (0.041)
(異なる暴力タイプの種類数 - 1) * $Z_0$ : $b_1$	0.064 (0.067)	0.008 (0.025)
B. 本人の被害と家族の被害		
本人のみが被害: $b_2$	0.040 (0.246)	0.540 *** (0.110)
家族のみが被害: $b_3$	-0.643 (0.444)	0.126 (0.154)
両方が被害: $b_4$	0.245 ** (0.098)	0.097 *** (0.027)
<b>II. 暴力タイプを広く含めた定式化</b>		
基本モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ )	0.118 *** (0.021)	0.033 ** (0.013)
A. 暴力のタイプの多様性:線形モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ ): $b_0$	0.045 * (0.027)	0.037 ** (0.017)
(異なる暴力タイプの種類数 - 1) * $Z_0$ : $b_1$	0.028 *** (0.007)	-0.002 (0.005)
B. 本人の被害と家族の被害		
本人のみが被害: $b_2$	0.007 (0.034)	0.065 *** (0.024)
家族のみが被害: $b_3$	0.053 (0.060)	0.056 (0.046)
両方が被害: $b_4$	0.154 *** (0.023)	0.022 (0.014)
<b>III. 世帯員数、世帯所得を説明変数に含まない定式化</b>		
基本モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ )	0.134 *** (0.022)	0.029 ** (0.014)
A. 暴力のタイプの多様性:線形モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ ): $b_0$	0.086 *** (0.030)	0.033 * (0.018)
(異なる暴力タイプの種類数 - 1) * $Z_0$ : $b_1$	0.033 ** (0.014)	-0.003 (0.008)
B. 本人の被害と家族の被害		
本人のみが被害: $b_2$	-0.009 (0.042)	0.070 ** (0.029)
家族のみが被害: $b_3$	0.027 (0.054)	0.017 (0.036)
両方が被害: $b_4$	0.162 *** (0.024)	0.023 (0.014)
<b>IV. 男性サンプルのみ(標本数=2,688)</b>		
基本モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ )	0.129 *** (0.023)	0.029 * (0.015)
A. 暴力のタイプの多様性:線形モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ ): $b_0$	0.078 ** (0.031)	0.036 * (0.019)
(異なる暴力タイプの種類数 - 1) * $Z_0$ : $b_1$	0.035 ** (0.014)	-0.004 (0.008)
B. 本人の被害と家族の被害		
本人のみが被害: $b_2$	-0.019 (0.043)	0.073 ** (0.030)
家族のみが被害: $b_3$	0.043 (0.056)	0.025 (0.038)
両方が被害: $b_4$	0.170 *** (0.024)	0.020 (0.015)
<b>V. プロビットモデル</b>		
基本モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ )	0.345 *** (0.068)	0.240 ** (0.096)
A. 暴力のタイプの多様性:線形モデル		
暴力経験ダミー( $Z_0$ ): $b_0$	0.178 ** (0.090)	0.275 ** (0.117)
(異なる暴力タイプの種類数 - 1) * $Z_0$ : $b_1$	0.119 *** (0.043)	-0.024 (0.051)
B. 本人の被害と家族の被害		
本人のみが被害: $b_2$	-0.037 (0.119)	0.509 *** (0.155)
家族のみが被害: $b_3$	0.078 (0.164)	0.165 (0.213)
両方が被害: $b_4$	0.428 *** (0.072)	0.192 * (0.101)

注. すべての推定モデルに、表に示したもの以外に、回答者属性(パネルIIIでは4変数、パネルIVでは5変数、それ以外は6変数)と、管区・辺境地域固定効果が説明変数として含まれている(完全な推定結果は著者まで請わりたい)。パネルIIにおいては、村をclusterとしたcluster-robust standard errorsを用いた。パネルIIでは、暴力経験ダミー $Z_0$ を計算する際に、本人と家族それぞれ8項目の合計16項目に「農地・作物・樹木への被害」および「灌漑設備損壊」を加えた18項目を、暴力被害経験とみなした。加害者を3タイプに限った点には変更がない。その他の注記事項については、本文の表4の注を参照。